

授業科目：保存修復学

担当教員：宮崎 真至，黒川 弘康，陸田 明智，高見澤俊樹，坪田 圭司，辻本 暁正  
瀧本 正行

授 業 の ね ら い	<p>齶蝕およびこれに関連する硬組織疾患の発症からその処置法に関する知識を得るとともに、最新の Minimal Intervention という治療概念のもとに保存修復学的見地からの基礎ならびに臨床的知識を統合させることを目的としている。</p> <p>すなわち、齶蝕に関連する硬組織疾患の疫学ならびに病理組織学的背景を理解するとともに、臨床的には再石灰化療法を含めて的確な診断ならびに治療方針の立案にあたって求められる科学的根拠を提示する能力を獲得する。さらに、歯質接着性材料を含めた修復材について、それらの生体材料としての特性および最新の臨床技法について理解を深めるとともに、各種修復材の物理試験、接着試験あるいは生体安全性試験の方法を理解し、研究計画を立案，これを行う。</p>
テ ー マ ：	<p>齶蝕および歯質接着性材料に関する基礎および臨床的検討</p>
内 容 ：	<p>歯質接着性材料をはじめとする修復材に関する最新の基礎および臨床的研究を理解することを目的とする。研究論文の抄読，グループ討論ならびに学会への参加を通して自らの研究テーマについての研究計画を立案し，それにしたがって実施する。</p>
成 績 評 価 ：	<p>論文抄読における理解度ならびにグループ討論への積極的参加と発言内容を総合的に評価する。また，実験計画の立案とそれに沿った研究を行う能力に関して，これを論文としてまとめることによって評価する。なお，論文は言語として英語を用いることが望ましい。</p>
そ の 他 ：	<p>テーマに即した英語論文あるいは専門図書を必要に応じて提示する</p>